

サステナビリティ教育研究センター 活動報告

1. タイトル

2022年度 けやき循環プロジェクト 史料館前プランターのエディブルガーデン化

2. 活動日時・参加人数

2022年6月2日(木) 10:40~11:25 小学校6年 南組(31名)

11:30~12:15 小学校6年 東組(29名)

教職員 7名・株式会社東京緑化 2名

3. 場所

学園史料館前

4. 活動内容

<プランターのエディブルガーデン化>

- (1) 教職員及び造園業者より説明
- (2) プランターへ培養土を追加・小学校で作成した堆肥の混ぜ込み
- (3) 野菜やハーブの植栽
- (4) 水やり
- (5) 収穫

こみち科(※1)授業の一環で、食育を含めた環境教育を目的として実施された。

小学校6年東・南組の児童が計7基のプランターにグループ毎に分かれて、野菜やハーブ(※2)を植栽した。1プランター当たりの人数が多かったが、各クラス・グループとも協力して作業を行うことができた。植栽後は教職員及び東京緑化が定期的に水やりを行い、植栽が成長したタイミングで収穫を行った。

※1:実体験や表現活動などを通して子どもの個性や能力を育む成蹊小学校独自の総合学習の授業

※2:植栽した野菜やハーブ

トウガラシ、中玉トマト、ミニトマト、ピーマン、コリアンダー、ペパーミント、ローズマリー

5. 成果と課題

<成果>

・植栽する野菜やハーブの育ち方の特性、土のかぶせ方等の説明を聞いたうえで、どこにどの種類の野菜やハーブを植えたら良いかを考えながら作業をしたため、児童が主体的に取り組むことができた。

・史料館前に設置することで、教職員や大学生の目にも留まりやすく、活動が可視化された。

<課題>

・設置場所の利点を活かしたけやき循環プロジェクトの周知方法を考える必要がある。

・野菜やハーブの品種の選定や長期休暇期間における維持管理方法等について、より充実するように検討する必要がある。

～活動の様子～



東京緑化による
植栽時の説明



培養土の追加
堆肥の混ぜ込み



野菜やハーブの植栽



植栽完了